

5 病院事業

(1) 事業数及び経営規模

令和3年度における県内の市町村等が経営する病院事業の数は前年度と同数の18事業で、その病院数も前年度と同数の27病院となっている。事業数及び病院数のうち、1事業1病院（女川町）は想定企業会計である。

※ 想定企業会計とは、従前は公営企業会計として特別会計を設置していたが、現在はこれを廃止し、一般会計等において精算及び地方債の償還を行っている場合等において、決算統計上、これに係る一切の収支を一般会計等から分別し、当該事業に係る公営企業会計が設けられているものと想定し、当該想定企業会計において経理されたものとして取り扱っている会計のことをいう。

病院（想定企業会計を除く。）を経営主体別にみると、市営が16病院、町営が6病院、一部事務組合営が4病院となっている。

【市営：7事業16病院】

仙台市、石巻市（2病院）、塩竈市、気仙沼市（2病院）、登米市（3病院）、栗原市（3病院）、大崎市（4病院）

【町営：6事業6病院】

蔵王町、川崎町、丸森町、涌谷町、美里町、南三陸町

【一部事務組合営：4事業4病院】

白石市外二町組合、黒川地域行政事務組合、加美郡保健医療福祉行政事務組合、みやぎ県南中核病院企業団

経営規模別にみると、300床以上は前年度と同数の5病院、200床以上300床未満も前年度と同数の1病院、100床以上200床未満は5病院で前年度に比べ1病院減少、50床以上100床未満も9病院で前年度に比べ1病院減少、50床未満は6病院で前年度に比べ2病院増加となっている。このうち、300床以上の病院は、仙台市立病院（525床）、大崎市民病院本院（500床）、気仙沼市立病院（340床）、栗原市立栗原中央病院（313床）及びみやぎ県南中核病院（310床）で、いずれも地域の基幹病院として機能している。

また、地方公営企業法の規定の全部を適用している事業は8事業（仙台市、気仙沼市、塩竈市、登米市、栗原市、大崎市、涌谷町及びみやぎ県南中核病院企業団）で前年度に比べ1事業増加、一部を適用している事業は8事業で前年度に比べ1事業減少した。また、指定管理者制度導入は前年度と同数の1事業（黒川地域行政事務組合）となっているが、令和3年度より代行制から利用料金制に移行している。

第1表 経営主体別・経営規模別の状況

（単位：病院、床、％）

経営規模	市		町		一 組 営		計		構 成 比	
	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数	病院数	病床数
300床以上	4	1,678	0	0	1	310	5	1,988	19.2	50.3
200床以上300床未満	0	0	0	0	1	207	1	207	3.8	5.2
100床以上200床未満	3	539	1	121	1	170	5	830	19.2	21.0
50床以上100床未満	4	328	4	288	1	90	9	706	34.6	17.9
50床未満	5	188	1	36	0	0	6	224	23.1	5.7
計（病院）	16	2,733	6	445	4	777	26	3,955	100.0	100.0
経営形態	全部適用	6	1	1	8	47.1				
	一部適用	1	5	2	8	47.1				
	指定管理者（利用料金制）	0	0	1	1	5.9				
	計（事業）	7	6	4	17	100.0				

（注）病院数は、年度末現在の数である。

(2) 業務の状況

令和3年度末における病床数は3,955床で、前年度に比べ155床(3.8%)減床している。病院別では、栗原市立若柳病院が30床の減床、栗原市立栗駒病院が30床の減床、大崎市民病院鳴子温泉分院が40床の減床、公立刈田総合病院が55床の減床を行っている。

患者数は、年延入院患者数が1,010千人で、前年度に比べ12千人(1.2%)減少、年延外来患者数は1,753千人で、前年度に比べ49千人(2.9%)増加している。また、1病院当たりの1日平均入院患者数は106人で、前年度に比べ2人(1.9%)減少、1病院当たりの1日平均外来患者数は276人で、前年度に比べ8人(3.0%)増加している。

病床利用率は69.9%で、前年度に比べ1.8ポイント上昇している。このうち、一般病床利用率は70.9%で、前年度に比べ1.2ポイント上昇している。

令和3年度末における職員数は6,842人で、前年度に比べ904人(11.7%)減少している。

第2表 病床数及び患者数の推移

年 度	項 目	H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較	
					a	b	b - a c	(c/a) ×100(%)
	年度末病床数(床) A	4,235	4,214	4,174	4,110	3,955	▲155	▲3.8
年 延 患 者 数 (千人)	入 院	1,122	1,112	1,112	1,021	1,010	▲12	▲1.2
	外 来	1,953	1,928	1,875	1,705	1,753	49	2.9
一 日 平 均 患 者 数 (人/1病院)	入 院	118	117	117	108	106	▲2	▲1.9
	外 来	305	301	297	268	276	8	3.0
病 床 利 用 率 (%)		(72.5)	(72.9)	(73.5)	(69.7)	(70.9)	(1.2)	-
		72.0	72.3	72.2	68.1	69.9	1.8	-
	年度末職員数(人) B	5,322	5,350	5,355	7,746	6,842	▲904	▲11.7
	一 床 当 たり 年度末職員数(人) B/A	1.26	1.27	1.28	1.88	1.73	▲0.15	-

(注)病床利用率欄の()内は、一般病床分である。

(3) 経営状況

ア 損益収支の状況

病院事業の経常収益は1,066億52百万円、経常費用は1,033億13百万円となっており、この結果、経常収支比率が103.2%となり、前年度に比べ4.8ポイント上昇している。

経常利益が生じた事業は17事業(想定企業会計を除く。)のうち12事業(病院数では26病院のうち17病院)で、前年度から6事業増加(病院数は8病院増加)となっており、その額は55億47百万円で、前年度に比べ44億44百万円(402.6%)増加している。

経常損失が生じた事業は5事業(9病院)で、前年度から6事業減少(病院数は8病院減少)となっており、その額は22億9百万円で、前年度に比べ5億91百万円(21.1%)減少している。

経常収益に特別利益を加えた総収益は1,089億96百万円、経常費用に特別損失を加えた総費用は1,038億27百万円となっており、この結果、総収支比率は105.0%で、前年度に比べ6.8ポイント上昇している。

経常損益に特別損益を加減した純損益をみると、51億69百万円の黒字が生じており、前年度(18億95百万円の赤字)から黒字に転じている。

累積欠損金を有する事業は16事業(24病院)で、前年度から1事業減少(病院は1病院減少)となっており、その額は914億53百万円で、前年度に比べ89億60百万円(8.9%)減少している。

不良債務を有する事業は1事業で、前年度から3事業減少しており、その額は2億31百万円で、前年度に比べ13億36百万円(85.3%)減少している。

第3表 病院事業の損益収支状況の推移

(単位:事業、百万円、%)

項目	年度	H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較	
							b - a	(c/a) ×100
総 収 益	A	96,626	98,625	99,954	106,112	108,996	2,884	2.7
経 常 収 益	B	95,626	97,864	99,550	102,819	106,652	3,833	3.7
医 業 収 益	C	81,949	83,131	84,856	82,395	83,310	915	1.1
うち 料 金 収 入		74,446	75,432	76,976	74,706	75,005	299	0.4
うち 受 託 工 事 収 益	D	0	0	0	0	0	0	-
特 別 利 益		1,000	761	404	3,293	2,345	▲949	▲28.8
総 費 用	E	102,426	103,492	105,798	108,007	103,827	▲4,180	▲3.9
経 常 費 用	F	101,498	103,152	105,081	104,514	103,313	▲1,201	▲1.1
医 業 費 用		96,891	98,472	99,941	99,275	98,142	▲1,133	▲1.1
うち 職 員 給 与 費		43,226	44,098	44,507	50,242	49,966	▲277	▲0.6
支 払 利 息		1,521	1,456	1,410	1,282	1,133	▲149	▲11.7
特 別 損 失		928	340	717	3,492	514	▲2,978	▲85.3
経 常 損 益		▲5,872	▲5,289	▲5,531	▲1,696	3,338	5,034	-
経 常 利 益		433	390	339	1,104	5,547	4,444	402.6
経 常 損 失	G	6,305	5,679	5,870	2,799	2,209	▲591	▲21.1
純 損 益		▲5,800	▲4,868	▲5,844	▲1,895	5,169	7,064	-
純 利 益		290	739	489	1,283	7,416	6,134	478.2
純 損 失		6,091	5,607	6,333	3,177	2,247	▲930	▲29.3
累 積 欠 損 金	H	90,418	95,210	100,978	100,413	91,453	▲8,960	▲8.9
不 良 債 務	I	1,412	1,914	2,571	1,566	231	▲1,336	▲85.3
経 常 収 支 比 率 B/F		94.2	94.9	94.7	98.4	103.2	4.8	-
総 収 支 比 率 A/E		94.3	95.3	94.5	98.2	105.0	6.8	-
医業収益 に対する 割合	経常損失比率 G/(C-D)	7.7	6.8	6.9	3.4	2.7	▲0.7	-
	累積欠損金比率 H/(C-D)	110.3	114.5	119.0	121.9	109.8	▲12.1	-
	不良債務比率 I/(C-D)	1.7	2.3	3.0	1.9	0.3	▲1.6	-
総 事 業 数	J	18	18	18	18	18	0	0.0
経常損失を生じた事業数	K	13	14	14	11	5	▲6	▲54.5
累積欠損金を有する事業数	L	16	16	17	17	16	▲1	▲5.9
不良債務を有する事業数	M	2	3	5	4	1	▲3	▲75.0
総事業数 に対する 割合	経常損失を生じた事業数 K/J	72.2	77.8	77.8	55.6	27.8	▲27.8	-
	累積欠損金を有する事業数 L/J	88.9	88.9	94.4	94.4	88.9	▲5.6	-
	不良債務を有する事業数 M/J	11.1	16.7	27.8	22.2	5.6	▲16.7	-

(注) 不良債務 = (流動負債 - 建設改良等の財源に充てるための企業債 - 建設改良等の財源に充てるための長期借入金 - 地方債に関する省令附則第8条の3に係るリース債務(PFI法に基づく事業に係る建設事業費等)) - (流動資産 - 翌年度へ繰り越される支出の財源充当額)

イ 資本収支の状況

病院事業の資本的支出は124億97百万円で、前年度に比べ1億62百万円（1.3%）減少している。このうち、建設改良費は51億21百万円で、前年度に比べ55百万円（1.1%）増加しており、企業債償還金は73億円で、前年度に比べ1億71百万円（2.4%）増加している。

資本的支出の財源は、外部資金が企業債や他会計出資金等の107億13百万円であり、内部資金（資本的収入が資本的支出に不足する分の補てん財源）が損益勘定留保資金等の17億37百万円である。

なお、資本的支出に占める建設改良費の割合は41.0%で、前年度に比べ1.0ポイント上昇しており、建設改良のための企業債償還金の割合は57.2%で、前年度に比べ1.5ポイント上昇している。

第4表 病院事業の資本収支状況の推移

（単位：百万円、%）

項 目	年 度	H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較	
							b - a c	(c/a) ×100
資本的支出	建設改良費	10,382	5,369	4,386	5,067	5,121	55	1.1
	企業債償還金	7,328	7,661	7,686	7,129	7,300	171	2.4
	うち建設改良費のためのもの	7,271	7,593	7,608	7,051	7,152	101	1.4
	その他	1,131	109	69	463	75	▲388	▲83.8
	計	18,840	13,139	12,141	12,658	12,497	▲162	▲1.3
同 上 財 源	内部資金	3,037	2,407	2,407	1,722	1,737	15	0.9
	外部資金	15,803	10,732	9,233	10,335	10,713	378	3.7
	企業債	3,602	4,420	3,860	4,020	4,006	▲14	▲0.3
	うち建設改良費のためのもの	3,602	4,420	3,860	3,264	4,006	743	22.8
	他会計出資金	5,407	4,414	4,009	4,384	4,795	411	9.4
	他会計負担金	1,162	1,352	1,399	1,281	1,361	80	6.3
	他会計借入金	0	0	0	90	0	▲90	皆減
	他会計補助金	89	300	41	31	32	0	0.7
	国・県補助金	5,406	132	112	799	945	146	18.2
	繰越事業財源(▲)	0	0	221	79	3	▲75	▲95.7
計	18,840	13,139	11,639	12,057	12,450	394	3.3	
財源不足額	0	0	501	602	47	▲555	▲92.3	
当年度同意等債で未借入又は未発行の額	0	0	0	156	47	▲110	▲70.2	
実質財源不足額	0	0	501	446	0	▲446	皆減	

(注)1 内部資金＝補てん財源合計額－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

ウ 料金収入の状況

料金収入（入院・外来収益）は750億5百万円で、前年度に比べ2億99百万円（0.4%）増加している。

患者1人1日当たりの診療収入は、入院収益が4万8,583円で、前年度に比べ163円（0.3%）増加しており、外来収益が1万4,800円で10円（0.1%）減少している。

職員1人1日当たりの診療収入は、医師1人当たりでは25万8,960円で20,453円（8.6%）増加しており、看護部門1人当たりでは5万7,892円で912円（1.6%）増加している。

第5表 料金収入の状況の推移

（単位：円、%）

年 度		H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較	
							b - a	(c/a)
項 目							c	×100
料 金 収 入（百万円）		74,446	75,432	76,976	74,706	75,005	299	0.4
内 訳	入院収益（百万円）	49,399	50,205	50,786	49,460	49,054	▲405	▲0.8
	外来収益（百万円）	25,047	25,228	26,189	25,246	25,950	704	2.8
患者1人1日 当たり診療 収 入	入 院	44,014	45,161	45,665	48,420	48,583	163	0.3
	外 来	12,826	13,086	13,970	14,810	14,800	▲10	▲0.1
職員1人1日 当たり診療 収 入	医 師	279,255	266,535	287,893	238,507	258,960	20,453	8.6
	看 護 部 門	57,895	57,780	58,422	56,980	57,892	912	1.6

エ 他会計繰入金の状況

他会計からの繰入金（借入金を含む。）は、収益的収入（特別利益を含む。）に計上される繰入金が139億29百万円、資本的収入に計上される繰入金が61億88百万円、合わせて201億17百万円で、前年度に比べ2億93百万円（1.4%）減少している。

収益的収入に計上される他会計からの繰入金の総収益に対する割合は12.8%で、前年度に比べ1.0ポイント低下しており、資本的収入に計上される他会計からの繰入金の資本的収入合計に対する割合は55.1%で、前年度に比べ0.7ポイント上昇している。

病床1床当たりの他会計からの繰入金は508万7千円で、前年度に比べ12万1千円（2.4%）増加している。

第6表 他会計からの繰入金の状況の推移

（単位：百万円、%）

年 度		H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較		
							b - a	(c/a) ×100	
項 目					a	b	c		
他 会 計 か ら の 繰 入 金	収 益 的 収 入 A	14,193	14,263	13,805	14,623	13,929	▲694	▲4.7	
	う ち	負 担 金	10,935	11,074	10,518	10,956	10,885	▲71	▲0.6
		補 助 金	2,852	3,152	3,240	3,621	2,948	▲674	▲18.6
		資 本 費 繰 入 収 益	0	0	0	0	0	0	-
		特 別 利 益	405	36	46	46	96	50	108.3
		資 本 的 収 入 B	6,658	6,066	5,449	5,786	6,188	402	6.9
	う ち	出 資 金	5,407	4,414	4,009	4,384	4,795	411	9.4
		負 担 金	1,162	1,352	1,399	1,281	1,361	80	6.3
		借 入 金	0	0	0	90	0	▲90	皆減
		補 助 金	89	300	41	31	32	0	0.7
計 (A+B)		20,850	20,329	19,254	20,410	20,117	▲293	▲1.4	
総 収 益 C		96,626	98,625	99,954	106,112	108,996	2,884	2.7	
資 本 的 収 入 D		15,817	10,732	9,254	10,634	11,232	599	5.6	
繰 入 率	総収益に対する繰入率 A/C	14.7	14.5	13.8	13.8	12.8	▲1.0	-	
	資本的収入に対する繰入率 B/D	42.1	56.5	58.9	54.4	55.1	0.7	-	
一 床 当 た り	収 益 的 収 入 (千円)	3,351	3,385	3,307	3,558	3,522	▲36	▲1.0	
	資 本 的 収 入 (千円)	1,572	1,439	1,305	1,408	1,565	157	11.1	
	計 (千円)	4,923	4,824	4,613	4,966	5,087	121	2.4	

※ 一床当たり繰入金 = $\frac{\text{他会計繰入金}}{\text{年度末病床数}}$

オ 職員給与費の状況

職員1人当たり平均給与月額、医師が86万5,569円、看護師が46万418円、准看護師が30万9,162円、事務職員が34万4,625円、その他の職員が36万1,025円、全職員平均では49万5,676円で、前年度に比べ3万3,648円(7.3%)増加している。

第7表 職員別給与(平均給与月額)の状況の推移

(単位:円、%)

項目 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較	
						b - a c	(c/a) ×100
医師	1,511,160	1,488,585	1,478,529	654,214 a	865,569 b	211,355	32.3
看護師	461,701	466,114	470,967	457,446	460,418	2,972	0.6
准看護師	442,443	466,801	451,667	293,752	309,162	15,410	5.2
事務職員	500,994	493,094	493,318	329,289	344,625	15,336	4.7
その他職員	431,962	430,698	433,785	351,083	361,025	9,942	2.8
全職員	566,049	565,596	568,844	462,028	495,676	33,648	7.3

(注)1 管理者及び臨時職員を除く。

2 平均給与月額 = (基本給 + 手当) / 年間延職員数

カ 業務量の状況

職員1人当たりの患者数は404人で、前年度に比べ52人(14.7%)増加しており、職員1人当たりの料金収入は1,096万2千円で、前年度に比べ131万8千円(13.7%)増加している。

病床100床当たりの職員数は、医師が27.6人、看護部門職員が93.4人、全職員では173.0人で、前年度に比べ15.5人(8.2%)減少している。

第8表 職員業務量の状況の推移

項目 \ 年度	H29	H30	R1	R2	R3	対前年度比較		
						b - a c	(c/a) ×100(%)	
職員1人当たり患者数(人)	578	568	558	352 a	404 b	52	14.7	
職員1人当たり料金収入(千円)	13,988	14,100	14,375	9,644	10,962	1,318	13.7	
病床100 床当たり	医師(人)	17.2	17.4	17.7	47.6	27.6	▲20.0	▲42.0
	看護部門(人)	86.0	87.2	86.8	91.1	93.4	2.3	2.5
	全職員(人)	146.2	149.1	149.6	188.5	173.0	▲15.5	▲8.2

キ 材料費の状況

薬品等の医療材料費は192億65百万円で、前年度に比べ12億2百万円（6.7%）増加している。これを料金収入に対する割合で見ると25.7%で、前年度に比べ1.5ポイント上昇している。

医療材料費のうち、薬品費は98億73百万円で、前年度に比べ4億98百万円（5.3%）増加しており、患者1人当たりの薬品費は3,573円で、前年度に比べ134円（3.9%）増加している。

第9表 料金収入に対する材料費の状況の推移

(単位:百万円、%)

項 目		年 度					対前年度比較		
		H29	H30	R1	R2	R3	b - a c	(c/a) ×100	
料 金 収 入		74,446	75,432	76,976	74,706	75,005	299	0.4	
医 療 材 料 費		17,638	17,670	18,402	18,063	19,265	1,202	6.7	
う ち	薬 品 費	9,021	9,031	9,775	9,375	9,873	498	5.3	
	そ の 他 材 料 費	8,617	8,638	8,627	8,688	9,392	703	8.1	
料 金 収 入 に 対 す る 割 合	医 療 材 料 費	23.7	23.4	23.9	24.2	25.7	1.5	-	
	う ち	薬 品 費	12.1	12.0	12.7	12.5	13.2	0.7	-
		そ の 他 材 料 費	11.6	11.5	11.2	11.6	12.5	0.9	-
患 者 1 人 当 た り 薬 品 費 (円)		2,933	2,971	3,273	3,439	3,573	134	3.9	